

2019年度 日本泌尿器科学会 (JUA)/欧州泌尿器科学会 (EAU) 交流プログラム

2019 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

小山 淳太郎 (東北大)

バルセロナで開催されたEAU19に交流プログラムとして参加させていただきました。

初日にはJUA/EAU joint sessionがあり、日本と欧州の先生方が前立腺癌・腎癌・先天性水腎症についてパネルディスカッション形式で活発な議論を交わされました。初日にも関わらず、日本からの先生方が多く参加されていました。

2日目の夜はResident Dinnerにご招待いただきました。JUA/EAU Resident programmeに参加された杉野先生、志村先生とも交流ができ、モチベーションが高くとてもいい刺激となりました。

今回のEAU annual meetingでは“Expert-Guided Poster Tours”と呼ばれるセッションが新設されており、「下部尿路症状」から「現在進行中の臨床試験の途中経過」などまで幅広い分野が取り上げられておりました。同セッションではまず座長がトピックをまとめた後にプレゼンターからの発表があり、各分野の最先端の研究を短時間で学ぶのに最適でした。プレゼンター達との距離が近いので、質疑も容易で活発な討論がたくさんできました。

Poster sessionでは排尿障害を中心に日本人の先生方の発表が多く、ここでも同年代の先生方の演題を傍聴させていただきました、とても刺激になりました。

また滞在中は観光も楽しませていただきました。バルセロナの街が持つ歴史に触れ、ガウディーらが作る美しい建造物に魅了された1週間でした。

今回のEAU19では127カ国から12,000人近い泌尿器科医が参加し、過去最大の5,500のsubmissionに対し、約1,600の演題が採択されました。厳しい採択率のEAUですが、日本の同年代の先生方も数多くご発表されており、次回は自分も必ず発表すると心に決めて帰国の途につきました。

このような貴重な機会を与えてくださった日本泌尿器科学会、欧州泌尿器科学会の関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。今回得た知識と経験を活かし、今後の診

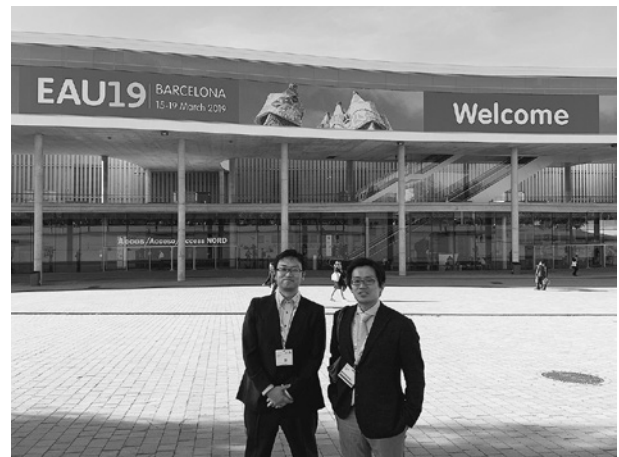


Image 1. 学会会場の前で



Image 2. Sagrada Familia の前で

療や研究の糧にすることで日本泌尿器科学会の発展に貢献できるよう一層努力して参ります。